

研究課題名	遺族によるホスピス・緩和ケアの質の評価に関する全国質問紙調査 (J-HOPE5 研究)
試料・情報の利用目的・ 利用方法 (他機関へ提 供する場合その方法)	<p>ホスピス・緩和ケアにとって、診療の質を維持し、患者様や家族様の生活の質 (QOL) を良くすることは、大切な事であります。そのために、患者様が受けるケアの質やそのケアの評価を継続的に行っていく必要があります。ケアの評価は実際の受け手である患者様自身に、直接評価してもらうことが最も信頼できると考えられます。しかし、特に緩和ケアの場合は、患者様の状態が悪かったり、意識の状態が悪くなったり、考える力の低下などのために、患者様が直接、自分が受けたケアを評価することが困難であることが多くあります。そのため欧米を中心に、家族様や遺族様からの患者様が受けたケアの評価をお聞きすることによって、ホスピス・緩和ケアの質を評価することが世界的に標準的な評価方法として実施されています。</p> <p>この調査の目的としては以下のような内容になります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 遺族様から見た患者様が受けた緩和ケアの質の評価と遺族様の悲嘆や抑うつの実態について明らかにすること。 2) この研究に参加した各施設に緩和ケアの質の評価と遺族の悲嘆や抑うつの結果を各施設に伝え、それを今後のケアに反映させることにより各施設が提供する緩和ケアの質を保証し、質改善のための情報を提供します。 3) この研究に追加的な研究を実施し、日本の緩和ケアが直面している臨床的学術的課題に対して科学的な調査研究も行います。 <p>患者様の氏名や ID (患者番号) を除いた対象者リストを研究事務局へ送ります。</p>
研究対象者	2024 年 1 月 31 日以前にベルランド総合病院緩和ケア病棟で亡くなられた患者様のうち、選択基準を満たす 80 名のご遺族が対象です。2022 年 12 月現在において、各都道府県厚生局で公開されている緩和ケア病棟のうち、全国で本研究への参加に同意した施設(2023 年 12 月 18 日現在 166 施設)13280 例を予定症例としています。
利用又は提供する試 料・情報の項目	<p>診療の過程で得られた患者様の下記項目を本研究に使用させていただきます。</p> <p>診療情報：氏名のイニシャル、性別、年齢、がんの原発部位、緩和ケア病棟入院日、死亡日 医療・ケアに関するアンケート</p>
研究予定期間	機関の長の実施許可日 2024 年 1 月 ~ 2028 年 12 月
試料・情報の取得方法	当院からお送りするアンケート用紙を返送いただきます。診療情報は電子カルテより収集します。
試料・情報を利用する者 の範囲	<p>東北大学大学院医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学分野 宮下 光令 緩和ケア看護学分野 東北大学大学院医学系研究科・医学部 (tohoku.ac.jp) 大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 山本 瀬奈 筑波大学医学医療系 総合診療医学・緩和医療学 濱野 淳 国際医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科 三條 真紀子 大阪公立大学 看護学部 高尾 鮎美 名古屋市立大学大学院 医学研究科 内田 恵 国立がん研究センター東病院 緩和医療科 三浦 智史 がん研究会有明病院 緩和治療科 池田 昌弘</p>

	<p>聖隷三方原病院 緩和支援治療科 森 雅紀 京都大学大学院医学系研究科 人間健康科学系専攻 恒藤 暁 横浜市立大学大学院 医学系研究科 看護学専攻 林 忍り子 黒部市民病院 緩和ケアセンター 小林 孝一郎 飯塚病院 連携医療・緩和ケア科 柏木 秀行 聖マリア病院 緩和ケア内科 大谷 弘行 市立伊勢総合病院 ホスピス科 佐藤 香 ピースホームケアクリニック 大屋 清文 戸田中央総合病院 緩和医療科 砥石 政幸</p>
<p>試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又 は機関の名称</p>	<p>ベルランド総合病院 緩和ケア科 山崎圭一</p>
<p>研究に協力したくない場合</p>	<p>研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先までお申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはありません。</p>
<p>お問合せ先</p>	<p>ベルランド総合病院緩和ケア科 氏名：山崎圭一 ベルランド総合病院 緩和ケア病棟 氏名：石川奈名 メールアドレス：k_yamasaki@seichokai.or.jp n_ishikawa@seichokai.or.jp 〒599-8247 堺市中区東山 500-3 TEL：072-234-2001（代）</p>